

平成30年度 前期 学校評価（学校関係者評価）結果

| 項目           | ●色教師アンケート項目 ●色生徒アンケート項目<br>●色保護者アンケート項目  |   | ■そう思う ■ややそう思う<br>■ややそう思わない ■そう思わない |  |  | 肯定否定割合 |     | 総合評価 |   |
|--------------|--|---|------------------------------------|--|--|--------|-----|------|---|
|              | 番号   | 具体的な評価内容  | 自己評価割合（％）                          |  |  | 肯定％    | 否定％ |      |   |
| Ⅰ 教育目標について   | ①  | 学校経営方針に基づき、教育活動を行っている。  |                                    |  |  | 100    | 0   | A    |   |
|              | ②  | 若草中学校は、常にP→D→C→Aサイクルに基づいた教育活動にとりこんでいる。  |                                    |  |  | 94     | 6   | B    |   |
|              | ③  | 目指す生徒像  | 「よく学び、工夫する生徒」を育成している。              |  |  |        | 100 | 0    | A |
|              | ④  |   | 「心豊かで、助け合う生徒」を育成している。              |  |  |        | 100 | 0    | A |
|              | ⑤  |   | 「健康で、たくましい生徒」を育成している。              |  |  |        | 100 | 0    | A |
|              | ⑥  |   | 「意欲を持ち、やり抜く生徒」を育成している。             |  |  |        | 100 | 0    | A |
|              | 考察   | 校長の経営方針に基づき、学校教育目標や目指す生徒像に向けて、教育課程全体において先生方が熱心に取り組んでいる姿がうかがえる。授業において、チャイム前には教室で待機、「若草中学びの作法」をはじめ、「学びの共同体」「山梨スタンダード」など授業を大切にしている。また、各行事での目的意識をもった取り組み、生徒会・委員会での取り組み、部活動での取り組み、個々の生徒理解など、細やかな対応が行われている。また、「若草みまもり隊」や「あいさつ」、「ラジオ体操」（生徒のリーダー、職員の参加）など「信頼される学校」を目指しての努力がうかがえる。 |                                    |  |  |        |     |      |   |
| 改善           | ・②のPDCAサイクルについて、やや自信がなく劣る点が見られる。人事評価や一人一実践、一校一実践における改善点による各自の教師としての質を高めること、また、学校行事や特別活動におけるPDCAサイクルを意識した取り組みを行う。学校評価の各アンケートの結果を真摯に受け止め、今後の改善に役立てる。 |   |                                    |  |  |        |     |      |   |
| 学校関係者評価委員会意見 | ①～⑥の中で、②P→D→C→Aサイクル教育を除いて自己肯定率100%になっているが、家庭、学校、地域がそれぞれ孤立することなく、相互に緊密に連携を取り、引き続き努力することが大切である。  |   |                                    |  |  |        |     |      |   |
| Ⅱ 校務分掌について   | ①  | 職務内容を十分理解し、責任を持って仕事にあたっている。   |                                    |  |  | 100    | 0   | A    |   |
|              | ②  | 自分の分掌と他の人の分掌との関連を考え、相互に連絡・協調している。   |                                    |  |  | 94     | 6   | A    |   |
|              | ③  | 分掌の達成状況、改善点などを管理職に「報告、連絡、相談、確認」している。  |                                    |  |  | 94     | 6   | A    |   |
|              | ④  | 管理場所の安全点検を行い、常に適切な安全管理に努めている。   |                                    |  |  | 97     | 3   | A    |   |
|              | ⑤  | 職員会議や校内研究会に積極的に参加し、決定事項を実践している。   |                                    |  |  | 100    | 0   | A    |   |
|              | 考察   | 総合評価はおおむね良好である。しかし、否定数のある②③は、コミュニケーション不足によるものであり、「自身と職場⑤」の項目や「教師の意見」にもあるように、学校全体としてのコミュニケーションに欠けているのは否めない。このことはスムーズな学校運営にも大きな影響を与えている部分もある。<br>また、「校務分掌の教師の意見」にあるように、各自とても忙しく手一杯のところもあるが、まずは連絡事項について「見てない・聞いてない・知らない」ということがないようにすることが大切である。                               |                                    |  |  |        |     |      |   |
| 改善           | ・現状をとらえての教師ひとり一人のコミュニケーション・学校運営の参画の意識化。<br>・管理職、教務主任、生徒指導主事、学年主任間の情報交換のさらなる意識化をする。（運営委員会）<br>・ミドルリーダーとしての学校運営への参画。                                 |   |                                    |  |  |        |     |      |   |
| 学校関係者評価委員会意見 | ①～⑤全ての項目において自己肯定割合は高率となっているが、その内④⑤については「そう思う」が50%台と若干低い値となっているので、職員が弧に陥らないように情報交換、協働性が大切である。   |   |                                    |  |  |        |     |      |   |

|              |  |  |     |    |   |
|--------------|--|--|-----|----|---|
| ①            | 基礎・基本の定着を図る授業を行っている。   |  | 100 | 0  | A |
| 生11          | 先生方は、わかりやすい授業をしていると思いますか。  |  | 96  | 4  | A |
| 保11          | 先生方は、わかりやすい授業に努めていると思いますか。   |  | 89  | 11 | B |
| ②            | 生徒の思考力・判断力・表現力、学習意欲を向上させる教科指導のあり方や教育内容の工夫改善に努めている。   |  | 100 | 0  | A |
| 生13          | 先生方は、授業に意欲的に取り組めるように教材や教具を工夫して授業を行っていると思いますか。  |  | 96  | 4  | A |
| 保13          | 先生方は、お子さんが意欲を持って取り組めるような、授業の工夫をしていると思いますか。   |  | 84  | 16 | B |
| ③            | 研究主題を意識した「学び合い」のある授業を実践している。   |  | 97  | 3  | B |
| 生12          | 先生方は、一人一人の考えを大切に、学び合いのある授業を進めていると思いますか。  |  | 96  | 4  | A |
| 保12          | 先生方は、一人一人の考えを大切に、学び合いのある授業を進めていると思いますか。  |  | 85  | 15 | B |
| ④            | 少人数グループや習熟度別授業の実施、また、発展的な内容を取り入れるなど、個に応じた指導を行っている。   |  | 93  | 7  | A |
| 生13          | 先生方は、授業に意欲的に取り組めるように教材や教具を工夫して授業を行っていると思いますか。  |  | 96  | 4  | A |
| 保13          | 先生方は、お子さんが意欲を持って取り組めるような、授業の工夫をしていると思いますか。   |  | 84  | 16 | B |
| ⑤            | 指導と評価の一体化を心がけ、生徒の意欲や自信につながる評価を行っている。   |  | 96  | 4  | B |
| 生14          | 先生方は、いろいろな場面で、あなたが努力したことを認めてくれますか。   |  | 93  | 7  | A |
| 保14          | 先生方は、お子さんの努力したことを認めてくれて、さまざまな面から評価していると思いますか。  |  | 87  | 13 | B |
| 考察           | <p>「若草中学びの作法」や校内研究である「学びの共同体」、「やまなしスタンダード」としてのめあてや振り返り、グループでの話し合い活動、家庭学習への有機化等、生徒達に興味や関心が持てる授業や基礎学力の定着、学力向上を仕組んだ授業が展開されている。</p> <p>人事評価にも多くの先生方が基礎・基本の定着の重要性を挙げ、授業始めにプリント学習等の工夫を取り入れている。</p> <p>また、②「思考力」や「判断力」、「表現力」の向上、③「学び合い」のある授業、④少人数グループや習熟度別授業の実施については、各個人への考えをしっかりと持たせ、グループ学習につなげ、発表し合うなどの授業が展開されている。その学習の中にはジャンプ課題と言われる発展問題もあり、学力向上にもつながっている。</p> <p>グループ活動においても、また一斉学習においても生徒達の意見を大切にしながら授業の展開につなげている先生方が多く、生徒達を頑張らせたいと思うと同時に、頑張ったりの評価を付けたいと先生方は考えている。</p> |  |     |    |   |
| 改善           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・テスト前の学習会の充実と補習授業等の計画（各学年）</li> <li>・生11～14について、生徒達からすべてA評価が付いたことはとても素晴らしく、今後も生徒との人間関係も深めつつ、より生徒の意欲が高まる授業の工夫・改善に努めていくことが大切である。（校内研究の充実）</li> <li>・先生方のBになってしまったところは、毎回グループ活動を取り入れては学習進度が間に合わない等が含まれていると考えられる。指導と評価の一本化については、努力をして評価をしているが、生徒の満足のいくものかとの不安のあることからと推測できる。今後できるだけ「学び合い」の授業を多く展開していくことと、今後も生徒の良い点を多く見つけていく努力が必要である。</li> <li>・また、保11～14については、B評価となったが、上記同様に生徒のひとり一人について、より良い点を多く見つけ出してあげることが大切と思われる</li> </ul>    |  |     |    |   |
| ⑥            | 生徒が自らの生き方について考え、正しい職業観を身に付けることができるように進路指導を行っている。   |  | 84  | 16 | B |
| 考察           | <p>若草中学校では1年生では「身近な人への職業インタビュー」として、働く意義を考えさせる基礎作りを行ない、2年生では「職場体験」として、実際の体験活動を通して社会生活についての見識を広めるとともに自己理解を深め進路を選択していく力を身に付けている。3年生では自己を総合的に理解させ、進路の情報や知識を得ながら進路選択の能力を高めさせている。</p> <p>進路指導は生き方教育である故、各教科・道徳・総合・特別活動において、計画的に横断的に全学年で行われるべきものである。若草中学校においても、全体計画に基づき、各学年の発達段階に応じた取り組みを行っている。卒業に向けて適切な進路選択が行われるよう、今後とも現状の活動をPDCAサイクルを行いながら工夫改善し、より良い進路指導のための努力を続けていく。</p>   |  |     |    |   |
| 改善           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特にキャリア教育において、各教科・道徳・総合・特別活動における横断的な関わりの見直しを行うとともに、キャリア教育の推進を図る。（キャリア教育主任）</li> <li>・各学年の取り組みを中心に、PDCAサイクルで工夫改善を行っていく。（★学年主任のリーダーシップのもと、各学年で共通理解のもとに実施する）</li> </ul>  |  |     |    |   |
| 学校関係者評価委員会意見 | <p>教師の自主性が問われる設問の③④⑤⑥において、自己肯定感「そう思う」が低率となっているのが気になる。（教師個々の控えめな自己肯定感であれば良いのだが）</p> <p>生徒11～14については、いずれも教師に対する評価は高率となっており、教師に対する信頼感がうかがえる。一方、保護者11～14の評価はいずれも厳しいものとなっているが、これは保護者の教師に対する期待感の表れでもある。（保護者への情報提供と対話を継続することが相互の信頼関係に繋がる）</p>   |  |     |    |   |

IV 生徒指導・道徳指導について

|              |  |  |     |    |   |
|--------------|--|--|-----|----|---|
| ①            | 生徒理解のために生徒とのコミュニケーションを図る努力をしている。   |  | 100 | 0  | A |
| 生15          | 先生方は、生徒の意見をよく聞き、相談に乗ってくれていると思いますか。   |  | 92  | 8  | A |
| 保15          | 先生方は、相談や悩み事について、適切に応じてくれていると思いますか。   |  | 85  | 15 | B |
| 生16          | 学級担任の先生には、気軽になんでも相談できますか。  |  | 85  | 15 | A |
| 保16          | お子さんは、担任の先生になんでも相談していますか。  |  | 63  | 37 | C |
| 考察           | 先生方が日頃より、生徒ひとり一人を大切にしながら対応している姿が十分に伝わってくる。それが伝わるかのように生徒達からはA評価が付くことができた。<br>保護者の15については、先生方が生徒を親身になって考えていることがある程度伝わっていると思われるが、16については残念な結果であり、真摯に受け止めて今後対応を考えていく必要がある。<br>しかし、「なんでも相談」という言葉をとらえると、生徒は直接かかわるのでよく見えているが、保護者にしてみれば直接見える部分ではないのでわかりづらいというのも正直あると考えられる。それゆえ保15と保16に差があるとも考えられる。また、生徒と保護者とのコミュニケーション不足の影響もあるのかもしれない。 |  |     |    |   |
| 改善           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もひとり一人の生徒を大切にされた対応を続けていく。(生徒理解と生徒情報交換の大切さを全職員が意識化)</li> <li>・チームとして対応が必要な場合の組織を強固にする。(学年主任、生徒指導主事、養護教諭、SC等関係職員)</li> <li>・質問内容の見える化</li> </ul>   |  |     |    |   |
| ②            | 基本的な生活習慣、生活のルールや決まりを身につけさせる指導を行っている。   |  | 100 | 0  | A |
| 生8           | あなたは、一日の生活のリズム(起床・就寝・食事・排泄など)がつくれていますか。  |  | 87  | 13 | A |
| 保8           | お子さんは、一日の生活のリズム(起床・就寝・食事・排泄など)がつくれていますか。   |  | 83  | 17 | B |
| 考察           | 今後社会に出る上で、約束や集団としてのルール、マナー等を身につけることは非常に大切なことである。このことについては先生方もとても重要と考えているとともに、生徒達もその必要性を自覚しているとともに、先生方の指導についてもしっかりと受け止めることができているとうかがえる。<br>保護者にとっては、起床・就寝・食事など、直接見える部分であり、心配している様子がうかがえる。   |  |     |    |   |
| 改善           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あたり前のことをあたり前に」、これまでと同様に基本的な生活習慣やマナー等、全職員で気が付いたことについて指導を継続していく。(生徒指導主事のリーダーシップ)</li> <li>・家庭・地域との連携を図りながら、より生活習慣やマナー等の充実を図る。</li> </ul>  |  |     |    |   |
| ③            | 一人一人のよさを認め合う態度、望ましい人間関係を育てる指導を行っている。   |  | 100 | 0  | A |
| ④            | 生徒支援委員会(生徒指導部会、ケース会議含む)は、組織的・計画的に運営され、有機的に機能している。  |  | 100 | 0  | A |
| 考察           | 生15と生16のA評価の通り、生徒ひとり一人の生徒理解に努め、望ましい人間関係を育てようと先生方は特に励んでいる様子がうかがえる。授業や教科外においてより細かく指導している姿が見られている。<br>生徒支援委員会において、支援を必要と思われる生徒ひとり一人について、今後どのような指導が適切であるのか、直接かかわる先生方へのアドバイスが行われると同時にチームとしての関わりについても検討されている。  |  |     |    |   |
| 改善           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方が気軽に相談できるようコミュニケーションを大切にする。(全職員の意識化)</li> <li>・生徒支援委員会の情報はもちろん、生徒理解を共有できる場を形式にとらわれず気軽に設定(朝礼等)</li> </ul>  |  |     |    |   |
| ⑤            | 道徳の授業を年間計画に沿って実践し、道徳の実践力を高めるための指導を授業以外でも日常的に取り組んでいる。   |  | 83  | 17 | B |
| 生17          | 学校は、道徳教育(人間の生き方やあり方)を行い、心を育てる教育をしていると思いますか。  |  | 92  | 8  | A |
| 保17          | 学校は、道徳教育(人間の生き方やあり方)を行い、心を育てる教育をしていると思いますか。  |  | 86  | 14 | B |
| 考察           | 中学校では来年度より道徳が「特別の教科 道徳」となる。移行期間ということもあり、先生方も意識して道徳の授業にも取り組んでいる。時には行事等への取り組みを含めた学活的な道徳を仕組まなければならないこともあり、先生方の評価もB評価となっているとうかがえる。道徳教育は、他教科等すべての教育活動において育まれるものであり、その点先生方があらゆる場面において一生懸命取り組んでいる姿がうかがえる。   |  |     |    |   |
| 改善           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「私たちの道徳」を授業の中で活用する。(道徳主任、各教師の意識化)</li> <li>・各学年ごとに道徳授業内容について情報交換や資料の共同制作を行う。(学年主任・各学年道徳担当)</li> </ul>  |  |     |    |   |
| ⑥            | 不登校やいじめについて、積極的な情報収集を行い、早期発見・早期対応を意識して取り組んでいる。   |  | 100 | 0  | A |
| 考察           | 不登校やいじめは学校が解決しなくてはならない喫緊の課題である。不登校については、特に中1ギャップが多いといわれおり、小中連携(小中での交換会や情報交換)がとても大切であり、多くの機会を設けることが必要である。また、チーム学校と言われるように今後も外部機関(SC、SSW、支援学校等)との連携も大切である。<br>「いじめは絶対にゆるさない」という強い姿勢を先生方は持っており、道徳指導はもちろん、アンテナを高くし、教職員の情報収集と情報交換も頻繁に行われ早期発見・早期対応に努めている。  |  |     |    |   |
| 改善           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめはどこの学校でも誰にでもおこりえるというスタンスを常に持ち、早期発見・早期対応に努める。(教師の意識化)</li> <li>・新たな不登校を生まないための取り組みを、今後も継続していく。(生徒理解・小中連携・生徒支援委員会等)</li> </ul>  |  |     |    |   |
| 学校関係者評価委員会意見 | ①～⑥について、⑤を除き全て自己肯定感が高くなっている。また、⑥については、道徳教育が移行期間のため教師にも日常的な道徳教育に関して迷いがあるように思えます。今後の改善への取り組みに期待する。<br>生徒8、15、16、17は、いずれも生徒自身の学校・教師に対する信頼感がうかがえる。(継続することによりさらに向上する)<br>保護者8、15、16、17は、いずれも教師に対する捉え方は厳しい評価となっており、生徒評価とのギャップが大きく違和感を覚えるが、分析による原因を明確にする必要がある。(保護者の学校に対する過大な期待感があるのは自然なことかと思うが)                                       |  |     |    |   |



|                      |   |   |    |    |    |     |    |    |   |
|----------------------|---|---|----|----|----|-----|----|----|---|
| V<br>特別活動について        | ①   | 生徒の自主性を育成し、学級や学年、学校生活の充実を図るための指導を行っている。   | 34 | 66 | 0  | 100 | 0  | B  |   |
|                      | ②   | さまざまな行事や活動を仕組み、達成感や成就感が満たされる内容を工夫している。  | 48 | 52 | 0  | 100 | 0  | B  |   |
|                      | 生18   | 学校の行事や生徒会の行事など、学校の行事は充実していると思いますか。  | 72 | 24 | 31 | 96  | 4  | A  |   |
|                      | 保18   | 子供たちが活動する学校の行事は充実していると思いますか。  | 43 | 49 | 71 | 93  | 7  | B  |   |
|                      | 考察  | <p>学校の特別活動について、生徒の評価がAと大変良い結果になっている。生徒会活動や委員会活動、部活動等において、先生方が生徒の自主性を育もうとする姿勢がうかがえる。リーダーを中心に全生徒考え、ともに創り上げる過程があるからこそ、満足感があると思われる。</p> <p>また、保護者の方も行事等の特別活動が、生徒を成長させていることに理解を示してくれていると思われる。</p> <p>教師がB評価となっているが、学園祭等の大きな行事の取り組みにより、具体的に関わる先生方も多くなり、また評価も変わってくるように思われる</p>   |    |    |    |     |    |    |   |
|                      | 改善  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事の目的や意義、取り組み方を全職員で共通で確認をする。（各行事ごとにPDCAサイクルにて検証と改善を含む）</li> <li>・学校での活動の様子が保護者に伝わるよう各種たより、HPの充実に取り組む。（各種たよりの発行者、情報教育主任が声掛けをし、担当が積極的に更新していく）</li> </ul>   |    |    |    |     |    |    |   |
|                      | ③   | 朝読書や図書館の活用を積極的に進め、豊かな感性の育成を図っている。   | 73 | 27 | 0  | 100 | 0  | A  |   |
|                      | ④   | 充実した委員会活動や部活動を行うことができるような指導に努めている。  | 57 | 40 | 31 | 97  | 3  | A  |   |
|                      | 考察  | <p>朝読書は今年で4年目となる活動である。一日の始まりが静かで落ち着いた雰囲気からスタートすることは、授業への集中力の高まりや穏やかな生活につながっていると思われる。</p> <p>担任はもちろん、フリーの先生方も生徒と一緒に本を読む時間ととらえて、全職員で読書活動の一層の充実を図りたい。</p>  |    |    |    |     |    |    |   |
|                      | 改善  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読書の時間を生徒も教師も全員が本を読む時間にする。（提案済み、職員の意識化）</li> <li>・読書内容の工夫と改善。（図書委員会で検討し提案する）</li> </ul>   |    |    |    |     |    |    |   |
| 学校関係者<br>評価委員会<br>意見 | ①、②については教師にも迷いがあるように感じます。校内での意見交換を密にして、問題解決にあたることで改善手段ではないか。また、2学期の大きな行事に向かい指導は充実してくると思われる。 |   |    |    |    |     |    |    |   |
| VI<br>家庭・地域との連携について  | ①   | 地域や保護者からの情報や要望を真摯に受け止め、日々の教育活動に反映できるように努めている。   | 45 | 55 | 0  | 100 | 0  | B  |   |
|                      | ②   | さまざまな学習活動で、地域の施設を利用したり、地域の人々に協力を要請するなど、地域連携を深めている。  | 30 | 57 | 13 | 87  | 13 | B  |   |
|                      | 考察  | <p>若草地区は新興住宅地域であり、古くからこの地域に住む住民と、他地域から転入してきた住民とが混在している。そのため地域や保護者からの情報は多岐に渡る。先生方はそのさまざまな情報について、ひとつひとついねいに受け止め、若草中教育の向上のために取り組んでいる。生15のA評価、保15のB評価は対応に努力した成果の表れとも考えられる。</p> <p>地域連携についてはまだ弱いと言わざるを得ない。現状は、学校応援団として植木の消毒や草取り等の美化活動に取り組んでいただいていることと、部活動指導として積極的に取り組んでいただいている。また、生徒会の地域貢献活動も生徒が熱心に取り組んでいるが地域と連携が取れていないのは残念である。地域には古い新しい住民が混在するからこそさまざまな力を持った住民が存在すると思われる。そのような方々との連携を新たにつくりだすことが今後の課題である。</p> |    |    |    |     |    |    |   |
|                      | 改善  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携を視野に入れた行事の再検討を行う。（教務主任、生徒会顧問）</li> <li>・地域コーディネーターとの連携を図り、地域人材の活用（教頭）</li> </ul>  |    |    |    |     |    |    |   |
|                      | ③   | 学校・学年・学級だより等の諸たよりを定期的に発行し、またホームページを活用して、学校や生徒の様子を積極的に公開している。  | 35 | 48 | 13 | 3   | 84 | 16 | B |
|                      | 生19   | 学校は、いろんなたよりやホームページなどで、出来事を積極的に連絡し、また公開していると思いますか。   | 51 | 31 | 13 | 5   | 82 | 18 | A |
|                      | 保19   | 学校は、各種たよりやホームページなどで、積極的に情報公開を行っていると思いますか。   | 34 | 51 | 12 | 4   | 84 | 16 | B |
|                      | 考察  | <p>各クラス、各学年、各担当で、それぞれの思いや願いを込めて適切な時期に諸たよりを発行している。生徒からでは伝わりきれない多くの情報が、適切な形で保護者に伝わることは、お互いの信頼関係を高めるうえで効果的に働き、開かれた学校づくりに大きく役立っている。ホームページ運営については、担当がはっきりしない部分もあり滞ってしまう部分もあったが、情報管理主任を中心に担当の再確認等を行い、タイムリーな更新を心がける。</p>   |    |    |    |     |    |    |   |
|                      | 改善  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種たよりの継続的発行と内容の工夫改善を行う。（各発行者）</li> <li>・ホームページさらなる更新を行う。（情報管理主任が声掛けをし、担当が積極的に更新していく）</li> </ul>   |    |    |    |     |    |    |   |
|                      | 学校関係者<br>評価委員会<br>意見  | ①②にみられるように、学校と地域の連携は薄くなっているように感じる。今後は子供達の社会性を高めるために、様々な場面で地域との連携を密に協力して取り組むことが双方の力となる。  |    |    |    |     |    |    |   |

|                      |  |   |  |    |    |   |
|----------------------|--|---|--|----|----|---|
| Ⅶ<br>自身と職場について       | ①  | 学校へ来ることが楽しかった。  |  | 91 | 9  | B |
|                      | 生1   | あなたは、毎日元気に楽しく学校に登校していますか。   |  | 92 | 8  | A |
|                      | 保1   | お子さんは、毎日元気に学校に通っていますか。  |  | 95 | 5  | A |
|                      | 考察   | <p>学校へ来ることに楽しさを見出している生徒が多く、また、その様子が保護者に伝わるので保護者評価も高い。先生方の努力の表れだと思える。反面楽しくないと思える生徒が34人もいることにも目を向け、生徒ひとり一人に日があたるような指導を心がけていかなければならない。</p> <p>生徒・保護者に比較すると先生方の評価が低いことが気になる。先生方が明るく笑顔で勤務することが、さらなる生徒の楽しさにつながるため、明るく楽しい職場になるよう一人一人が心掛けていくことが大切である。原因には多忙化もあると思われるが、その解消はなかなか難しいと思われる。それゆえコミュニケーションを取ることが連携につながり、多忙化軽減のきっかけになるかもしれない。</p> |  |    |    |   |
|                      | 改善   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期は大きな行事が多い。ひとり一人の生徒が輝けるような取り組みを行う。（学年、担任、担当）</li> <li>・学年を越えたコミュニケーションを今まで以上に図る。（教師の意識化）</li> </ul>   |  |    |    |   |
|                      | ②  | 授業や生徒のことなど、必要な時に職場で話げできた。   |  | 94 | 6  | A |
|                      | ③  | 子供たちに信頼される教師であった。   |  | 90 | 10 | B |
|                      | ④  | 教師としての力量を高めることができた。   |  | 90 | 10 | B |
|                      | ⑤  | 教師集団として、一つにまとまることができた。  |  | 84 | 16 | B |
|                      | 考察   | <p>職員室では、生徒の頑張りや心配になる点など、学年を越えて話が飛び交うことも多い。しかし、中学校では教科担任制のため職員が顔をそろえて話ができるのは、部活動後の遅い時間になってしまう。そんな中、生徒の情報交換等に労を惜みずに取り組んでいる。</p> <p>②③については、生徒達の落ち着きを見ればもう少し高くてもよいと思えるが、謙虚な気持ちを持っていることが教師としてのまずまずの力量を高めると考える。</p> <p>⑤については、上記の①同様、先生方が明るく笑顔で勤務することが、さらなる生徒の楽しさにつながるため、明るく楽しい職場になるよう一人一人が心掛けまとまるのが大切であると思える。</p>                      |  |    |    |   |
| 改善                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒理解のためには日常的な情報交換はとても大切で。気づいたことは学年を越えて今後も行う。（生徒指導・学年主任・教師の意識化）</li> <li>・今後も教師としての力量を高めるため、専門性や総合的なコミュニケーション能力を高める努力を続ける。（教師の意識化・管理職・教務主任・学年主任・ミドルリーダー）</li> <li>・よりレベルの高いものを求める教師集団であるために、常にコミュニケーションと研究と研鑽を続ける。（教師の意識化・管理職・教務主任・学年主任・ミドルリーダー）</li> </ul> |   |  |    |    |   |
| 学校関係者<br>評価委員会<br>意見 | ①及び③、④の自己肯定感の非常に低いことに驚いている。（控えめなもの）<br>教師や学校全体の教育環境のレベルアップを図るためには、教師相互が意見・情報交換等を重ねた意識改革による信頼関係の構築が何より必要ではないか。  |   |  |    |    |   |
| Ⅷ<br>施設設備について        | ①  | 学校には、教育活動に必要な施設・設備が整っている  |  | 52 | 48 | C |
|                      | 生②   | 学校には、学習するのに必要なもの・場所・道具などが整っていると思いますか。   |  | 92 | 8  | A |
|                      | 保②   | 学校には、教育活動に適した施設・設備が整っていると思いますか。   |  | 81 | 19 | B |
|                      | 考察   | <p>学校の老朽化は非常に大きな問題である。例えばトイレが少ない、水場が少ないなども何年も課題として取り上げられているが、その解消のためには莫大な予算（1つの便器で150万×個数）が必要であり、その改修規模の大きさから早急な対応も難しい。要求は今後も行うが現時点では限られたスペースや施設・設備に手を入れながら、改善改良や対応を探るのが方策と言える。</p> <p>一方生徒の施設・設備への満足度が高いことは、他校との比較ができないことが大きな理由であるが、教育活動に対する満足度が高いこともその理由の一つであろう。ここに教育活動は中身が大切であることを教えられる気がする。</p>                                 |  |    |    |   |
| 改善                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要なものを年次計画で継続して請求していく。（施設・設備については教頭、各種備品については教科主任、その他必要な物品については各担当が責任を持って請求する）</li> </ul>  |   |  |    |    |   |
| 学校関係者<br>評価委員会<br>意見 | 通学路等の危険箇所も含め、学校、保護者、地域が現状を理解し、共同して要望していくことが大切と考える。   |   |  |    |    |   |